

④正義 (Justice)

- ・ _____ ・ _____ にケアを提供する。

患者A _____

患者B _____ → 公平なケア

患者C _____

例) 差別のない対応

医療資源 (_____ ・ _____) の公平な配分

社会的弱者への配慮

(4) 倫理的ジレンマとは

- ・ どちらを選んでも 完全に正しいとは言えない状況

○倫理的問題の解決プロセス

- ・ _____ の明確化
- ・ _____
- ・ _____ の検討
- ・ _____ に照らして考える
- ・ 最善の行動選択 例) 一人で抱えず _____ で考える

<国家試験過去問題>

問題：患者の選択権の行使を最も促進するのはどれか。 第111回 AM5

1. 父権主義
2. 医師の裁量権
3. コンプライアンス
4. インフォームドコンセント

解答：4

- ×1 父権主義とは、強い立場にある者(医師)が、弱い立場にある者(患者)の利益を考えて行動することである。
- ×2 医師の裁量権とは、医師が自分の考えで意思決定することである。
- ×3 コンプライアンスは、医師などから指示されたことを患者が遵守することである。
- 4 インフォームドコンセントにより、患者の選択を促進する。

問題：看護師に求められるアドボケーターの役割はどれか。 第101回 AM5

1. 指示者
2. 責任者
3. 代弁者
4. 調整者

解答：3

アドボカシーには、「弁護」「支持」などの意味があり、アドボケーターはそれを行う者、つまり「代弁者」「擁護者」という意味で用いられる。なお、調整者はコーディネーターといわれる。

問題：良質の医療を受ける権利を宣言しているのはどれか。 第107回 AM32

1. リスボン宣言 2. ヘルシンキ宣言 3. ジュネーブ宣言 4. ニュルンベルク綱領

解答：1

○1 患者の権利宣言ともいう。

×2 1964年に採択された、ヒトを対象とする医学的研究の倫理的原則である。

×3 1948年の第2回世界医師会総会で規定された医の倫理に関する規定で、ヒポクラテスの誓いの倫理的精神を現代化・公式化したものである。

×4 1947年、ニュルンベルク継続裁判(医者裁判)の結果として提示された、研究目的の医療行為を行うにあたり厳守すべき10項目の基本原則である。

問題：倫理原則の「善行」はどれか。 第102回 PM4

1. 患者に身体損傷を与えない。
2. 患者に利益をもたらす医療を提供する。
3. すべての人々に平等に医療を提供する。
4. 患者が自己決定し選択した内容を尊重する。

解答：_____

- 1
2
3
4

6. 看護の提供のしくみ

(1) サービスとしての看護 (教科書 医学書院 p214~)

※サービスとは

奉仕、相手のために気を配って尽くすこと

(国語辞典)

報酬を求めず、また他の見返りを要求するでもなく、無私の労働を行うことをいう。

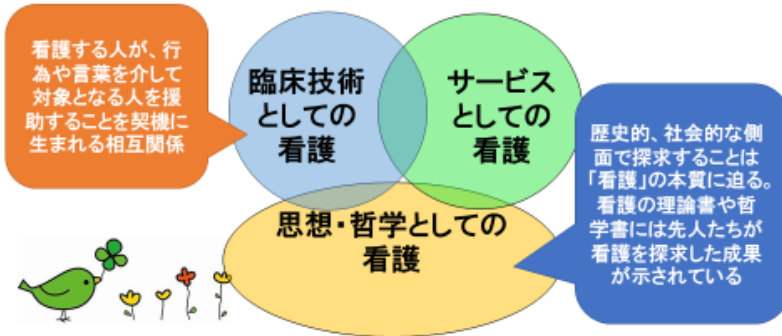
神仏・主君・師などに、つつしんでつかえること。

利害を離れて国家や社会などのために尽くすこと。

Q. 看護におけるサービスとは？

A.

サービスとしての看護 「看護とはなにか」の3つの視点

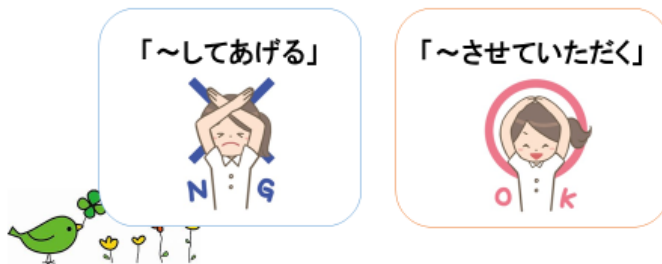


「サービス」とは・・・

❖「サービス」は受ける相手があってこそ初めて成立するもの

医療・看護にとっての受け手とは・・・

受ける相手 = **患者さま**があってこそ**看護**は存在



- ・いかに素晴らしい看護技術が開発されたとしても、実際にサービスとして人々に提供できるような社会・経済のシステムがなければ、技術開発の本来の目的は達成されない。
- ・社会保障制度や医療政策の策定や実施を検討する際には、単に経済的側面からのみ考えるのではなく、看護の技術的な可能性や、社会にとっての看護の価値や意味といった視点を合わせた検討が不可欠である。

(2) 看護サービスと経済

Q. 医療機器等の価格を調べる。

注射器、針、輸液セット、輸液ポンプ、ベッド、ガーゼ、清潔ケア用おしぼり…。

A.

○新潟県立看護大学看護研究交流センター「看護師が実践している看護サービスの特徴」

カテゴリー	サブカテゴリー
1. _____	好感的態度 挨拶・言葉遣いの配慮 接遇への姿勢 身だしなみ
2. _____な療養に向けての配慮	プライバシーの保護 環境整備 騒音への配慮 食事の配慮 清潔への配慮 排泄時の配慮
3. _____の把握	患者の意思を汲み取る 患者の希望をきく
4. _____の確立	関係性の構築 誠実に対応する 謝罪
5. 患者の_____を重視する	患者の意思の尊重 自尊心を尊重する 傾聴的態度
6. <u>インフォームドコンセント</u> の実践	丁寧に分かりやすい説明 同意の確認
7. _____への配慮	苦痛の回避と緩和 安心感を与える
8. _____への配慮	危険回避 医療安全 合併症予防
9. 患者を取り巻く <u>周囲の人々への配慮</u>	家族への情報提供 患者と関係性のある人々への対応
10. _____を見据えた支援	患者と問題を共有する 他職種との連携 自立を促す
11. <u>自己研鑽</u>	自己の能力の向上 自身の看護の内省
12. _____への配慮	個別性のある看護計画 経済面への配慮
13. 患者の <u>擁護</u>	患者を擁護する
14. <u>公平性の担保</u>	公平性への考慮
15. 医療者間の_____	情報伝達

(3) 看護サービスの特徴

① _____ 性 (_____)

- ・看護は「 _____ に残らないサービス」
- ・ケアの質は _____ や _____ で評価される
例) 安心感・信頼感

②同時性 (同時に提供される)

- ・サービスの提供と受けることが同時に行われる
例) バイタルサイン測定+声かけ

③個別性

- ・一人ひとりに合わせたケアが必要
例) 高齢者と小児では対応が異なる
同じ病気でも _____ が違う

④変動性

- ・提供する人・状況で _____ が変わる

(4) 看護サービスの内容

○ _____ ケア

- ・清潔援助 (入浴・清拭)
- ・食事・排泄の援助
- ・バイタルサイン測定

○ _____ ケア

- ・不安の軽減
- ・傾聴
- ・心理的支援

○ _____ 支援

- ・退院支援
- ・家族支援
- ・在宅生活への調整

○ _____

- ・服薬指導
- ・生活指導
- ・疾患理解の支援

(5) 看護サービスの目的

- ・健康の維持・回復・増進
- ・苦痛の軽減
- ・自立支援
- ・QOL (生活の質) の向上

※「治す」だけでなく「 _____ 」支援

(6) 看護サービスの提供の場 (教科書 医学書院 p217～、医学書院「関係法規」)

	特徴	看護サービス
①病院		
②診療所、外来		
③助産所		

	特徴	看護サービス
④訪問看護ステーション		
⑤介護老人保健施設・介護医療院		
⑥介護老人福祉施設		